

平成29年度 虫の日イベント

「人に不快な虫・獣展」実施結果



平成29年度虫の日イベント「人に不快な虫・獣展」は例年どおり、虫の日（6月4日（日））によこはま西・ビル環境協議会の共催と、日本家庭用殺虫剤工業会、生活害虫防除剤協議会、日本防疫殺虫剤協会の協力、横浜市保健所の後援をいただき、横浜駅東口の新都市プラザ（そごう前広場）にて開催いたしました。

当日は早朝8時30分前から会員約40名と横浜市生活衛生課から3名が集合し、展示パネル等の設営を行い、設営終了後、山川企画広報委員長から挨拶があり、午前10時にイベントがスタートしました。

会場には獣類、鳥類、ネズミ類の剥製やスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチの巣、害虫の標本等が展示され、シロアリや獣類の駆除風景、樹木害虫などの食害の状況などを1テーマ4枚程度の写真で作成したパネルも展示されました。

また、顕微鏡など昆虫類の同定に必要な諸器材や、トコジラミなどの標本類なども展示され、これらの展示物について、担当の会員が見学者の求めに応じ詳しく説明して来場者の興味をそそりました。



また、日本家庭用殺虫剤工業会、生活害虫防除剤協議会、日本防疫殺虫剤協会の協力により家庭用殺虫剤の見本を展示し、パネルなどによって薬剤の適切な使用方法などの説明を行いました。

見学者は会場内を熱心に見て回りながら、虫の種類や生態、人への影響などを熱心に確認し、駆除方法などについて詳しく質問をするなど、熱のこもった光景が会場内で多く見受けられました。また、日常生活の中で衛生害虫などの被害に悩んでいる様子の方も多く、これらの見学者には総合案内に待機した会員が相対で懇切に説明や助言を与えるなど、大盛況のイベントになりました。

また、展示に参加した横浜市のコーナーにはジカ熱対策のパネルが展示され、佐藤昌子生活衛生課長さんをはじめ計3名の横浜市職員が展示に立ち会い市民の質問に答えておられました。

この会場の付近には、そごうデパートや有名専門店が立地し、買い物の行き帰りやバスターミナルに向かうついでに立ち寄る方も多く、特に午後からはかなりの混雑状況で、開催時間中の来場者は5,147名（昨年は5,023名）にのびりました。



会場前ではワンちゃんとマウスくんの着ぐるみに身を包んだ会員が、汗だくで展示コーナーに来場を誘導しつつ、子供たちに風船をプレゼントし、愛嬌をふりまき、写真撮影に応ずるなど、人気の的になっておりました。



また今年も、「虫ムシ描こうコーナー」で、お子さんが描いたムシの絵を担当の会員が手作りの缶バッジに仕立て、プレゼントし絶大な好評をいただきました。



その後、午後5時30分に展示を終了し、午後6時にはすべての展示資材の撤収を無事完了しました。

最後になりますが、ご共催いただきました「よこはま西・ビル環境協議会」の皆様、ご協力いただきました「殺虫剤3団体」の皆様、ご後援頂きました「横浜市保健所」の皆様、また、お忙しい中、長時間のイベントにご協力いただきました会員の皆様に心からお礼を申し上げ、実施結果のご報告といたします。

